

平成 29 年度学生懸賞論文審査結果について

平成 30 年 2 月 14 日

大分大学経済学部教育研究支援室

本年度の学生懸賞論文には 25 編の応募があり、審査の結果次のように入選者を決定しました。

1 等 1 編

クラフトビールと地方創生 ―宮崎ひでじビールにみる事例研究―

1421016 荒木 優希

2 等 1 編

「隠れ待機児童」はなぜ発生するのか

―待機児童の判定プロセスと分類ごとの特徴に注目して―

1521196 中西 春樹 1521028 石津 凌 1521099 工藤 敦史 1521318 渡邊 滯

3 等 1 編

中心市街地のまちづくり組織における商店街活性化に対する意識の差と今後の展望

―JR 大分シティ開業後の大分市中心市街地を事例として―

1521100 熊手 帆乃 1521807 佐藤 花澄 1521031 伊藤 さつき 1521283 三輪 彩佳

佳作 2 編 (順不同)

父親の育児参加における心理的な障壁と克服可能性

―育児中の父母に対する質的インタビューを中心に―

1521225 林 昌輝 1521119 坂本 卓保 1521183 中馬 愛理 1521808 中村 涼平

為替レートの変動要因の分析

1421301 山下 公平

審査委員： 市原宏一，城戸照子，越智 学，秋山智恵子，渡邊博子

表彰式： 平成30年2月19日(月) 11時～ 図書館1F ラーニング・コモンズAにて

*1等～佳作に入選した学生は表彰式に必ず出席して下さい。

なお、下記の応募論文20編は選外となりました。(順不同)

コミュニティバスの持続的な利用増促進について —豊後大野市で実施した社会実験「大人の社会見学Ⅳ」を通じて—
里山 穂乃華・生山 優・池邊 妃呂子・植木 久瑠実・大上 滉太・平位 沙希
クラウドファンディングを利用した持続的・地域振興の可能性 上原 栞・河野 真奈・秦 浩彰・藤本 ののか

ハラール食品対応の現状と課題 —大分県を事例に— 小笠原 知美・黒田 修平・田内 麻菜・守屋 健治

リスク情報と株式市場別の株価変動 —個人情報漏えいのケースを対象に—
濱辺 洋慶・加藤 真奎子・佐藤 紘暉・長嶺 京佳
倒産予知モデルの検証 —時間経過による正確性の比較と改良— 小野本 翔・稲本 怜海・森 俊哉・吉岡 来珠

民間主体のエネルギー自給による循環型経済の構築と持続性の分析 —岡山県真庭市の事例から— 平野 純

交通空白地帯の示すライドシェアの有効性 —兵庫県養父市のマイカー運送ネットワークをもとに—
上江洲 達怜・城月 美穂・本城 羽矢人・松本 諒太・丸井 菜々子・宮城 未知河
創造都市を目指したまちづくり —寛容性からのアプローチ— 宮崎 敬・安部 春輝・今村 美慧・諸江 采伽

現代韓国の対日感情の理解 —韓国の人々が持つ、親日と反日の二面性— 嶋津 浩介

なぜ、人は優先席を譲らないのか。 —日本人心理の社会的影響を背景として— 高橋 奨

日本はAIIBに参加すべきか 柳瀬 美優・池田 空大・小田 夏子・川久保 滉平・西村 あかり・春内 未来

観光地における言語景観の実態 —大分県別府市の駅や地獄温泉を事例に—
土田 直樹・釘宮 玄光・満崎 秀太・井口 真穂・桑野 香純・砂地 明日香・渡邊 莉奈・池畠 大二・黒田 翔太
タックスヘイブン対策税制と租税条約への抵触問題に関する一考察 嵯山 利奈

アメーバ経営を支える心理学的側面に関する研究
渡会 航太郎・河野 士・小林 美海・宮下 和也・服部 紗恵那・渡邊 裕紀
労働環境の改善がもたらす企業への利益とは 青野 未佳・朝倉 美月・桑島 尚吾

大人の修学旅行で引っ張る国東観光 椎葉 侑莉子・河野 友唯・宮里 春輝・坂本 司・弥永 将治・野村 永

設備投資を推進するための資金増加法に関する考察 —ボトルネック、セールスマックスに注目して—
中森 洸希・秦 夏実・清家 優輝・高吉 悠生・谷淵 星南・廣瀬 彩花
将来債権譲渡後に譲渡禁止特約が付された場合における国税徴収についての一考察

—平成24年10月4日民事第37部判決により見えてくる課題— 荒木 正宏
紙の代替化と日本におけるペーパーレス社会 —アナログとデジタルの境界線を探る— 梅木 美里

アイスクリーム産業 —日本のアイスクリームは成長するのか— 椿 珠依